#### RAPIDWeekly Report on Aomori Prefecture Infectious Disease

### 発行 青森県感染症情報センター(2007年8月31日)

(青森県環境保健センター:担当 微生物部)

TEL 017-736-5411, FAX 017-736-5419

青森県環境保健センターホームページ http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html

#### 青森県感染症発生情報

第 **34 週の発生動向**(2007/8/20~2007/8/26)

1. **咽頭結膜熱については**、上十三保健所管内において第 14 週から、むつ保健所管内では第 16 週から、警報が 継続しています。

(2007年第34週)

- 2. 手足口病については、上十三保健所管内において新たに警報が出されました。
- 3. **ヘルパンギーナについては**、上十三保健所及びむつ保健所管内において新たに警報が出され、東地方+青森 市保健所管内では第 27 週から警報が継続しています。

第34週五類感染症定点把握注:五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

7 07 01 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12												11/4							
保健所名	東地方	7+青森市	3	が	/	F	五角	千川 原	上	+ <b>=</b>	1	さつ	青森	県計	増減数	東地方	方(再掲)	青森市	可(再掲)
疾患番号・疾患名	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	(前週からの増減)	数	定点	数	定点
(100) インフルエンザ															0				
(72) RSウイルス感染症															0				
(73) 咽 頭 結 膜 熱	3	0.33	1	0.11			1	0.20	3	0.50	3	0.75	11	0.26	-3			3	0.38
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.22	14	1.56	3	0.33	1	0.20	4	0.67			24	0.57	2			2	0.25
(75) 感染性胃腸炎	20	2.22	9	1.00	4	0.44	1	0.20	9	1.50	16	4.00	59	1.40	20	4	4.00	16	2.00
(76) 水 痘	3	0.33	3	0.33	1	0.11			3	0.50	3	0.75	13	0.31	-10			3	0.38
(77) 手 足 口 病	13	1.44	10	1.11	8	0.89	11	2.20	38	6.33	1	0.25	81	1.93	39			13	1.63
(78) 伝 染 性 紅 斑					3	0.33			2	0.33	1	0.25	6	0.14	2				
(79) 突 発 性 発しん	6	0.67	8	0.89	6	0.67	3	0.60	7	1.17	7	1.75	37	0.88	15	4	4.00	2	0.25
(80) 百 目 咳															0				
(81) 風 しん															0				
(82) ヘルパンギーナ	48	5.33	17	1.89	8	0.89	8	1.60	74	12.33	32	8.00	187	4.45	32	5	5.00	43	5.38
(83) 麻しん(成人を除く)									1	0.17			1	0.02	1				
(84) 流行性耳下腺炎	4	0.44	3	0.33	6	0.67	5	1.00	2	0.33			20	0.48	8			4	0.50
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	2	1.00					3	3.00					5	0.45	-6			2	1.00
(95) マイコプラズマ肺炎					2	2.00							2	0.33	-6				

	定	点数			
保健所名	インフルエンザ(内科 + 小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15 14	9	6	3	1
八戸		9	5	2	1
五所川原	7 9	9 5 6	2	1	1
上十三	9	6	3	0 3 2 1 2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	6 12 65	8	5 2 3 2 4 23	2	0 1 1 1 1 1 6
合計	65	42	23	11	6

は警報

は注意報

「空欄」: 患者発生数 0

表 以外の感染症法対象疾患 (19年計には、今回届出された人数を含む)注:届出数は速報値です。

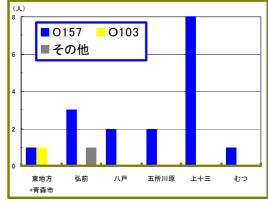
- (9) 結核(二類全数把握): 各保健所管内: 弘前2人、八戸1人、五所川原1人、むつ2人、青森市1人 (19年計: 106人)
- (14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握):弘前保健所1人、上十三保健所3人、青森市保健所1人(19年計:19人)

# 展発症の窓

## 腸管出血性大腸菌感染症







**図2** 保健所管内別累計 (平成19年第34週まで)

本年の青森県における届出数は、過去 5 年間の同時期で比較すると、7 月の集団発生が原因で多かった平成 18 年に次いで多い報告数です(図1)。保健所管内別では、上十三保健所管内が8人と多く、その他県内全体で散発的に発生しています(図2)。感染予防対策には、排便後や調理前の手洗いの励行、食品の十分な加熱などがあります。小児や高齢者の方は、発症後、溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症に移行し、重症化することがあるため、特に注意が必要です。

関連情報:保健衛生課:腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう http://www5.pref.acmori.lg.jp/aj-hcken/34267/cpub.html 腸管出血性大腸菌による食中毒の防止について http://www.pref.acmori.lg.jp/shckuhineisei/topics/daidroukin.html